

令和3年度入試 教育学部における実技検査の課題・出題意図等

●学校教員養成課程 美術教育専修

(前期日程)

■ 課題

I. 静物着彩

正方形のモチーフ台の上に、白い布、幹巻きテープ、ガラスの花瓶、チューリップ、レモン、耐火煉瓦を配置して静物着彩のモチーフとした。

□ 出題意図

- ・ 形態を正確に把握し、色彩にて表現できるか。
- ・ モチーフの質感の差を捉え、色彩にて表現できるか。
- ・ 複数のモチーフの関係性を観察し、空間を捉え描写できているか。
- ・ モチーフと余白のバランスなどの画面構成力があるか。

□ 採点基準

以上の観点をふまえ、総合的に採点を行う。

II. 小論文

別紙はパウル・クレー『無限の造形』の複写（抜粋）です。

これを読んで、クレーの造形についてのあなたの考えを、1200字以内で述べなさい。

(パウル・クレー, 南原実訳, 『無限の造形〔上〕』, 新潮社, 1981, p.13, pp.114-119)

□ 出題意図

資料から、鑑賞力、読解力と自分の美術経験や想像力等を駆使して画家の造形観を捉えることを意図した。

□ 採点基準

造形的な表現も含む資料を理解出来ているか。

論述については、論理的かつ説得的に伝えたいことが表現出来ているか。